

令和6年度 第1回 健康横浜21推進会議 議事録	
日 時	令和6年4月23日（火）18時30分～20時30分
開催場所	横浜市役所 みなと1・2・3会議室
出席者	健康横浜21推進会議 委員 19人
欠席者	健康横浜21推進会議 委員 1人
開催形態	公開（傍聴者1人）
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）第3期健康横浜21の策定状況について</p> <p>（2）「今後検討」としていた第3期健康横浜21の目標値について</p> <p>（3）よこはま健康アクション〔R6-R11〕と取組推進について</p> <p>（4）令和6年度横浜健康経営認証に係る見直しについて</p> <p>4 報告事項</p> <p>（1）歯科口腔保健に関する取組について</p> <p>（2）禁煙支援・受動喫煙防止対策事業について</p> <p>（3）よこはまウォーキングポイント事業について</p> <p>（4）食環境づくりに関する取組について</p> <p>（5）令和5年度における健康経営の推進について</p> <p>（6）健康横浜21における広報・プロモーションの取組について</p> <p>（7）女性の健康づくり応援に関する新たな取組について</p>
新委員紹介	<p>名簿6番目 神奈川県国民健康保険団体連合会 佐藤委員</p> <p>名簿9番目 横浜南労働基準監督署 千葉委員</p>
議 事	<p>【議事1】第3期健康横浜21の策定状況について</p> <p>資料3-1、3-2、3-3</p> <p>（水谷会長）</p> <p>事務局からの説明に対して質問や意見がある委員はいるか。事務局の説明を承認するということでよいか。</p> <p>（一同）</p> <p>異議なし。</p> <p>（水谷会長）</p> <p>3月に実施した、健康横浜21計画評価及び次期計画策定検討部会でも話が上がったが、第3期健康横浜21は体系図があるのが分かりやすくよい。日々私たちは健康づくりに取り組んでいるが、多くの関係団体が一体化して一つのものを目指すということはありません。これを活用して取組を推進していきたい。</p> <p>【議事2】「今後検討」としていた第3期健康横浜21の目標値について</p> <p>資料4</p>

	<p>(水谷会長)</p> <p>事務局からの説明に対して質問や意見がある委員はいるか。事務局の説明を承認するというのでよいか。</p> <p>(一同)</p> <p>異議なし。</p> <p>(水谷会長)</p> <p>目標を目指して邁進したい。目標値は横浜市で作成したデータに基づいたもの。エビデンスや今後のことについてはこれから長期にわたって計画を推進していく中でさらに詰めていけるとよい。今回のものは、現時点での方向性を示すものとして考えている。</p>
	<p><b>【議事3】よこはま健康アクション [R6-R11] と取組推進について</b> 資料5-1</p>
	<p>(水谷会長)</p> <p>事務局からの説明に対して質問や意見がある委員はいるか。</p> <p>(一同)</p> <p>なし。</p>
	<p><b>【議事3】よこはま健康アクション [R6-R11] と取組推進について</b> 資料5-2</p>
	<p>(水谷会長)</p> <p>御意見、御質問について各団体より、御発言いただきたい。私も関係機関・団体の一員として発言するため、この議事は田口副会長に進行をお願いする。</p> <p>(田口副会長)</p> <p>御指名いただいたため、この議事について進行を務めます。慶応義塾大学の田口です。令和6年度から令和17年度における「第3期健康横浜21」に基づく各団体の取組についての推進に向けて、各団体の皆様から御発言いただきたい。</p> <p><b>【資料5-2】</b>を参考にしながら、1～2分で御発言をお願いする。横浜市PTA連絡協議会の木宮委員からお願いする。</p> <p>(木宮委員)</p> <p>横浜市PTA連絡協議会の木宮です。</p> <p>横浜のこどもお弁当コンクールについて。家庭科や給食で学んだ知識や技術を生かし、横浜の子どもたちみんなが「自分のため」「誰かのため」にお弁当をつくることを目指し、2015年から始まったプロジェクト。横浜市PTA連絡協議会はこちらのイベントの後援をしている。</p> <p>2023年は、「2027花博」で食べたい弁当を作ろう！～横浜の地場産物を取り入れた「私の花博弁当」を世界に発信しよう～というテーマで募集され、70校から1184作品の応募があった。入賞、入選は小・中・特別支援学校より43名選ばれた。沢山のアイデアが詰まった素晴らしい作品が多く、選考が難しかった。SDGsに貢献しながら栄養満点にしたお弁当、5大栄養素を取り入れたもの、お弁当を開けたら嬉しくなるような花をモチーフにした見た目のもの、横浜らしく崎陽軒のシウマ</p>

イ弁当をリスペクトしたもの、病気になったおばあちゃんのために作ったお弁当等があった。子どものコメントの中に、「世界中の人を元気に、笑顔で幸せにしたい」というものがあり、お弁当に込める思いの深さを感じて胸が熱くなった。お弁当コンクールの入賞作品については、横浜すばいすのホームページでも紹介している。また7月に発行される広報誌では、中学校の給食について掲載予定。ホームページでも掲載を予定している。

(西尾委員)

神奈川県産業保健総合センターの西尾です。

神奈川県産業保健総合センターは企業で従業員の健康管理を行っている方の支援機関で、厚生労働省所管の独立行政法人であり、提供している支援はすべて無料。

主な活動として5つ資料に記載した。

1つ目は、メンタルヘルス対策は、事業所が従業員のメンタル不調にさせないための活動。

2つ目は、転倒・腰痛対策は工作中的の作業動作を起因とするものを対象としている。労働者の高齢化に伴い、労働災害の1位となっている。単に作業環境を整えるということだけでなく、労働者の筋力や体力面にアプローチした支援を実施している。

3つ目は、脳・心臓疾患等の健康起因事故防止に向けた注意喚起と健康教育等の支援を行っている。転倒・腰痛と同様に、高齢労働者の増加にともない、疾患や疾患発症リスクを抱えて働く従業員が増えている。心臓疾患によって意識不明となり、大きな事故になるということが問題になっている。

4つ目は、治療と仕事の両立支援について。こちらは疾患を発症した方がその後も安全に働くための両立支援制度の導入や健康情報の取り扱い制度の構築に向けた支援を行っている。

5つ目は、化学物質等による健康障害防止対策の推進に向けた取組。化学物質を扱う事業所は、製造業、建設業、大学、企業の研究所等多岐にわたる。労働者の健康を守るために、薬品等の取り扱いだけでなく、作業や環境の管理について指導を行っている。

以上すべての取組について、専門家の訪問によってマンツーマンで指導を実施している。

(千葉委員)

横浜南労働基監督署の千葉です。

特に横浜市内で働く労働者の健康管理を実施している。年1回から2回実施する健康診断に基づき、労働者の健康状態を把握してもらうことから始めてもらっている。

また、転倒・腰痛等の作業行動に起因する労働災害は、かなりの比率を占めている。2月には西公会堂にて転倒災害防止大会を実施し、啓発を実施した。

(吉田委員)

日本チェーンストア協会、相鉄ローゼン株式会社の吉田です。

食環境づくりとして、お弁当作りや小中学生に対する体験学習を提供している。その中で、食育の一環として好きなお弁当を食べてもらったり、メーカーと協力した

り体験会等を実施している。

また、20歳未満への酒類の販売抑制等についても店頭で明示することで啓蒙している。

(小野委員)

JA横浜の小野です。

低価格で受けていただける生活習慣病健診や人間ドックの制度を整備し、受診率の向上を最重要項目として取り組んでいる。

この取組が重要であることは、食糧自給率の低下も関係している。農業の担い手が年々減少しているため、新たな担い手を増やさないといけないが、現在の農業従事者に健康意識をもってもらい、疾患等によって仕事を辞めざるを得ない状況を減らさないといけない。1次産業の担い手を減らさないことを目的としている。

また、農業機械の事故も課題。全国で過去5年間平均、約300人が農業機械の事故で亡くなっている。

(須貝委員)

横浜市食品衛生協会の須貝です。

飲食業界の健康診断や特定健診受診率は低いため、改善のため引き続き啓発を実施する。また、未成年の飲酒抑制や、飲食店での喫煙ルールの周知を徹底していきたい。

横浜市の飲食店では、食品衛生責任者を設置しており、年に1回最新の食品衛生や食中毒の知識についてEラーニングを作成して受講してもらっている。そこで、健康福祉局作成の飲食店での喫煙ルールについての動画も公開している。令和6年度も引き続きEラーニングを実施予定。

(米山委員)

横浜市食生活等改善推進員協議会の米山です。

第3期健康横浜21の取組として世代別に食を通した生活習慣の改善や生活習慣病予防につながる事業を実施している。食分野の市民の行動目標を念頭に、育ち学びの世代、働き子育て世代、実りの世代に食育の啓発をしていく予定。

また、新たな取組テーマである暮らしの備えも啓発に取り入れていく。フレイル予防等について平時からの生活習慣改善から寄与できるよう啓発活動を実施していく。新しい取組なので、手探りではあるが、市民の皆様へ効果的に啓発できるようにしていきたい。

(長谷川由希委員)

神奈川新聞社の長谷川です。

年に1回がんに対する啓発特集を掲載している。がんに関しては早期発見が大切。定期的のがん検診を実施し、予防・早期発見につながるよう専門家を呼んで特集を組んでいる。

また、暮らしいきいき面という健康に関する情報を毎週火曜日に掲載している。ここ最近だと、人食いバクテリア、心房細動、不安症、帯状疱疹、健康食品との付き合い方、野菜を食べるコツ等健康に関する情報を掲載している。

またその他に、年に1回セミナーを実施し、読者の方向けにシンポジウムを実施しており、先日もオンラインとリアルの両方でセミナーを実施した。

(福原委員)

テレビ神奈川の福原です。

神奈川県で唯一の地上波テレビ局。情報番組やニュース番組が多いテレビ局である。若い方のテレビ離れもあるため、公式YouTubeやLINEニュースを活用するなど、様々な世代に発信できるようにしている。

また、神奈川県内で生まれた赤ちゃんに「はじめてばこ」というものをプレゼントしており、その対象者向けの広報等も実施しており、助産師からの話なども載せている。

(水谷会長)

横浜市医師会の水谷です。

医師会は病気の治療ということで市民の皆様と関わるのが一番多いが、健康という面ではこちらの資料にある通りの取組を推進している。横浜市民の健康に関する施策には様々関与している。1月のがん検診の受診率向上を目指していくということで記者発表があったが、医師会では実際にクリニック等のがん検診を実施することで、市民の皆様の健康を守っていく。

(二宮委員)

横浜市歯科医師会の二宮です。

歯と口の健康を通して、健康増進につながることを実施している。第3期健康横浜21は、推進していくためには、力を合わせて協力・連携していくことが大事だと思っている。

歯科医師会としては既に行政や医師会、薬剤師会、食生活改善等推進員、栄養士会等と連携しているが、他団体とも積極的に連携していきたいと思っている。

酸を取り扱う事業所に半年に1回実施が定められている、歯牙酸蝕症健診というものがある。50人以下の事業所は義務化されているが、実施されていない。

スポーツ歯科という学問があり、運動機能と歯科にも関係がある。歯と口を見れば、タバコについても分かることがある。タバコ吸っている方はむし歯や、歯周病になりやすい。各団体協力して健康横浜21を推進していきたい。

(瀬戸委員)

横浜市薬剤師会の瀬戸です。

禁煙支援薬局事業を継続し、禁煙相談・受動喫煙防止対策の推進を支援する。こちらの研修会は今年度も7月に実施を予定している。運動習慣事業として、薬草探索健康ウォーキングの開催も継続する。9月に開催が決定している。

フレイル予防の啓発にも力を入れていきたい。各薬局で健康測定会の実施や、フレイルチェック進めていく。

生活習慣病の発症予防や重症化予防の啓発事業への協力、研修会の開催について、糖尿病の重症化予防について医師会、歯科医師会や栄養士の先生方と連携して実施していきたい。

災害時等、もしもの健康維持に備えるための体温計や血圧計の設置を進める。また、自分の健康は自分で守るという意識を市民の方に持っていただくためにも、セルフメディケーションの推進もしていきたい。

また、育ち学びの世代に対して、飲酒防止教室を学校薬剤師からの働きかけによって実施していきたい。

(長谷川利希子委員)

神奈川県栄養士会の長谷川です。

横浜地区は第一県民活動事業部というエリア。公益に関する事業を担っている。県も市も網羅して書かせていただいた。

丸をつけ忘れた箇所があることに気が付いた。特に高齢者のサポートをしていく部分については、行動目標の口から食べるを維持する、が関わる。また、つながりを大切にするという行動目標についても関わりがあると感じた。改めて資料の確認・修正をしたい。

今後特に力を入れたいのは、高齢者のフレイル予防についてと、災害時の栄養支援についてである。また、食生活にかかわる企業等と関わって横のつながりをもっていきたい。

(吉元委員)

横浜市スポーツ協会の吉元です。

第3期健康横浜21では運動に関する部分を中心に取組を進めていきたい。ライフステージに応じたスポーツ活動とあるが、特に身近な場所で気軽に始められるウォーキングやマラソンなどを進めていきたい。大きなものでは横浜マラソンがあるが、マラソン愛好者だけでなく、親子で走る、7kmの短いコースなど参加することが運動開始の動機付けになるようなイベントも実施している。

障害や年齢、国籍に関わらず実施できるボッチャのようなインクルーシブスポーツなども取組を進めていきたい。

(長谷委員)

禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議の長谷です。

この市民団体は1999年11月に発足しており、24年程度の歴史がある。禁煙推進と受動喫煙防止に関する活動を主として実施している。

5月31日は世界禁煙デーであり、そこから1週間は世界禁煙週間と定められている。

6月9日(日)15時から横浜市開港記念会館にて禁煙神奈川会議の総会・講演会を実施する。講演会は渡辺文学氏に「日本の嫌煙権運動45年」の講演を、原田隆之先生に「タバコ ハームリダクション～新しい禁煙対策となりうるか」の講演をしていただく予定。

様々な団体から講師依頼があれば、講師派遣を行っている。加熱式タバコのシェアがかなり広がっているが、将来的な健康面への影響が危惧されている。連携して、加熱式タバコも吸えない環境を作ることが必要だと思っている。

未成年者や教育者への喫煙防止教育も実施している。将来的にタバコを吸わない世代ができると思っている。

かながわ卒煙塾、かながわ卒園サポートセミナー、健康チャレンジフェアかながわ等のイベントについても協力している。

(平手委員)

全国健康保険協会神奈川支部の平手です。

協会けんぽの保健事業では、健診・保健指導・重症化予防の3本柱を推進してきているが、最近とりわけ力を入れているのが保健指導の施策である。しかし、なかなか進まないのが現状である。

神奈川支部の特徴としては、加入事業所が約16万事業所あるうち、従業員20人未満の事業所が90%以上にのぼる。1事業所当たり平均で6.6人しか従業員がいない。これは全国最下位であるが、標準報酬月額は約33万円で全国1位である。そのため、従業員が少ない中、とても忙しく仕事をされているのが神奈川県の実業所であることから、保健指導に結びつけるのは容易ではない。

そこでもう一つの柱であるのが、コラボヘルスである。まずは健康企業宣言事業所になっていただいて、数を増やすことで、宣言をしている健康意識の高い事業所に対して健康課題のサポートを行うことが命題であると考えている。

神奈川支部の課題である女性の喫煙や飲酒・食事環境の改善という問題を解決するには、横浜市さん等とのタイアップなど、ほかの団体さんとも一体となってコラボヘルスを突き進んでいくことが重要であると考えている。

(佐藤委員)

神奈川県国民健康保険団体連合会の佐藤です。

国民健康保険、後期高齢者医療の診療報酬や介護給付費等の審査支払などをはじめとし、国保保険者等が実施している保健事業を支援している。

広報事業として、ラジオCMを年間40回、生CMを4回実施することで、特定健診の受診啓発を実施した。また、同じく特定健診受診啓発のため、ポケットティッシュを59,000個、ウェットティッシュを32,500個、横浜市に提供して各種イベントで配布いただいている。特定健診のポスターを作成し、市町村をはじめ医師会、歯科医師会、薬剤師会へ配付し、健診の受診啓発を行った。

健康祭りの関係では、横浜市の3つの区に対して骨密度測定器をはじめとした、健康測定機器を7回貸し出し、3つの区に対し3回、在宅保健師の派遣をして支援を行った。

資料5-2の項番87では、横浜市から4点の助言希望があり、支援評価委員会からそれぞれ助言をした。

資料5-2の項番88では、横浜市の国保・後期高齢者医療に対して新任者向けの研修を実施、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施のジャンルとした研修を、ご担当者合計で28名が参加し、いずれも少人数で実際のデータとシステムの実機を用いてレクチャーを行い、ご好評をいただいている。

(堤委員)

健康保険組合連合会神奈川連合会の堤です。

神奈川県の74健保組合の連合会で、各健保が取り組む特定健診・保健指導の実施率

向上や、データヘルス計画の推進を支援している。

ただ、これらは健康横浜21の取組ではなく、国から義務化されている項目。また、健康保険組合の事業所は全国に散らばっているため、全ての加入者が横浜市民という訳ではないが、横浜市在住の加入者も多く、取組みを進めることで健康横浜21に寄与できると考えている。

また、加盟健保組合の被保険者数の違いも大きく、取組の濃淡がどうしても出てくるため、全体の底上げができるよう、様々な施策を考えている。

各健保組合が事業主とコラボヘルスという形でデータヘルス計画を推進して従業員の健康維持増進を図っていきたい。

(田口副会長)

追加でコメントしたいことがある委員はいるか。

(堤委員)

健保組合の禁煙対策に対する関心は非常に高いが、なかなか難しく思うように進まない。神奈川会議の中で卒煙塾という取組を実施されている。職域の中でも展開できないかと思った。健保からの発信で実施していきたい。

(長谷委員)

企業からも講師を派遣して欲しいと依頼があることがある。今後もさらに活用していただけるとよい。

(田口副会長)

御発言ありがとうございました。水谷会長に進行を返す。

**【議事4】令和6年度横浜健康経営認証に係る見直しについて**  
資料6

(水谷会長)

事務局からの説明に対して質問や意見がある委員はいるか。

(二宮委員)

令和5年度の認証事業所数は557箇所であり、うち医療福祉に関する事業所は57事業所が認証されたとのこと。横浜市内の歯科医院2,100箇所あるが、認証されているのは、おおよそ2施設のみ。横浜市歯科医師会としても必要な取組であると呼びかけはしているが、申請が煩雑で諦めてしまう医院が多いのも事実。是非今後は認証書類の軽減に取り組んでいただきたい。

(事務局)

申請書類の煩雑さはこれまでも指摘をいただいている。添付書類を減らしたりはしているが、今後も申請しやすいような工夫を行いたい。

(水谷会長)

他に意見等がある委員はいるか。事務局案を御承認いただくということでよいか。

(一同)

異議なし。

(水谷会長)

以上をもって、議事は終了とする。



<p>報告事項</p>	<p>【報告事項 1】 歯科口腔保健に関する取組について 資料 4</p> <p>【報告事項 2】 禁煙支援・受動喫煙防止対策事業について 資料 8</p> <p>【報告事項 3】 よこはまウォーキングポイント事業について 資料 9</p> <p>【報告事項 4】 食環境づくりに関する取組について 資料10</p> <p>【報告事項 5】 令和 5 年における健康経営の推進について 資料11</p> <p>【報告事項 6】 健康横浜 2 1 における広報・プロモーションの取組について 資料12</p> <p>【報告事項 7】 女性の健康づくり応援に関する新たな取組について 資料13</p>
	<p>(水谷会長)</p> <p>事務局からまとめて報告を受けた。質問や意見がある委員はいるか。</p> <p>(二宮委員)</p> <p>プロモーションや啓発に関して。以前よこはま健康ファミリーのTwitter (X) があつた。結構良いことをつぶやいていたが、フォロワー数が少なかったからか、閉鎖されてしまった。</p> <p>自治体によっては何かのパロディなど面白い形にして多くのアクセス数を稼いでいるものもある。</p> <p>時代はSNSなので自ら発信できるようなものも工夫してみたい。</p> <p>(長谷川利希子委員)</p> <p>行政の取組を実施していくと思うが、この会議で多くの団体と一緒に取り組むことができる地盤が出来ている。コロナも終息を迎えているため、健康横浜 2 1 推進会議のメンバーで何かイベントが出来るとよいと思った。</p> <p>(吉元委員)</p> <p>よこはまウォーキングポイントについて。スポーツセンターにリーダーを置いており、多くの方がリーダーを使用している。使用されている方は年々減っている実感はあるが、ウォーキングを実施している人は減っておらず、様々なアプリ等も出てきている。</p> <p>健康に関心がある方が一同に集えるようなイベントや、ウォーキングウィーク等を実施してみるのはいかがでしょうか。そこに集まる方々は、栄養や口腔についても興味関心があることが多い。ユニバーサルデザインを取り入れたりして、障害がある方や外国籍の方も参加できるような、お祭りのようなものを実施できるとよい。</p> <p>(水谷会長)</p> <p>沢山ウォーキングを頑張っている方は自身の医院に訪れる患者さんにも多い。ランキングが出るようなものは、競争心が刺激されて面白いかもしれない。</p>

	<p>年齢層によっては食環境づくりの基準について野菜をどれだけ食べるか等、難しく感じる場合がある。自身も食事をする際、野菜がどれくらいあるかで評価したりする。長谷川委員から何かコメントはないか。</p> <p>(長谷川利希子委員)</p> <p>今回作られたハマの元気ご飯弁当は、色合いも良く、思わず買いたいと思うものだった。「野菜摂取」ということだけでなく、「美しい、盛り付けが綺麗」ということもお弁当については重要なのだと思う。</p> <p>(長谷委員)</p> <p>禁煙に関して話題が出ていた。WHOでタバコ対策の国別判定ができる。日本は毎度最低レベルであるが、禁煙の保険算定での治療ができることは唯一評価されている。以前は禁煙の保険診療に一定のハードルがあったが、それが撤廃されて喫煙者であれば誰でも保険診療で治療を受けることができるようになっている。</p> <p>現在飲み薬は停止されているが、ニコチンパッチを使用した禁煙治療でも8～9割禁煙に成功する。仮に禁煙に失敗したとしても1年たてばまた保険診療で治療ができる。</p> <p>ニコチンパッチには大中小と3種類あり、医療機関ではそのすべてを使用することができ、24時間貼って治療が可能。薬局では大きなパッチは使えないが、小中のニコチンパッチを日中のみ貼ることで禁煙に挑戦することができる。</p> <p>そのようなことを皆様に基礎知識として知っておいていただき、必要時助言いただけるとありがたい。</p> <p>(水谷会長)</p> <p>喫煙する人が減ったと感じていたが、自分自身が喫煙する人がいる場にはいなくなったからだと感じた。喫煙に対する規制が厳しくなっても、体に悪いと分かっている、それでも吸うという人もいる。今喫煙している人のことも考えながら取組については推進していきたい。</p> <p>様々意見だし感謝する。これにて報告も終了とし、進行を事務局に返す。</p>
<p>閉会</p>	<p>(岩松課長)</p> <p>水谷会長、進行ありがとうございました。皆様もご議論ありがとうございました。次回は令和7年2～3月頃の予定とし、改めて調整する。</p> <p>本日はこれにて閉会とする。</p>
<p>資料</p>	<p>資料1 健康横浜21推進会議 委員名簿</p> <p>資料2 健康横浜21推進会議運営要綱</p> <p>資料3-1 第3期健康横浜21の策定状況について</p> <p>資料3-2 第3期健康横浜21冊子要約版</p> <p>資料3-3 第3期健康横浜21概要版</p> <p>資料4 第3期健康横浜21 指標・目標値 一覧表(案)</p> <p>資料5-1 よこはま健康アクション[R6-R11]リーフレット</p> <p>資料5-2 第3期健康横浜21 関係機関・団体情報共有シート(案)</p> <p>資料6 令和6年度横浜健康経営認証に係る見直しについて</p>

資料 7	歯科口腔保健に関する取組について
資料 8	禁煙支援・受動喫煙防止対策事業について
資料 9	よこはまウォーキングポイント事業について
資料 10	食環境づくりに関する取組について
資料 11	令和 5 年度における健康経営の推進について
資料 12	健康横浜 2 1 における広報・プロモーションの取組について
資料 13	女性の健康づくり応援に関する新たな取組について